

移住者ら 絶景や史跡紹介するマップ作成

東御・御牧原台地 歩いて楽しんで

東御市御牧原の移住者らでつくる「おいでなんし御牧原の会」は、御牧原台地を歩いて巡ってもらう地図「御牧原 ぜっけいウォークガイドマップ」を作った。浅間山や八ヶ岳、北アルプスなどの山々を見渡せ、なだらかな丘に民家や田畑が広がる景観を楽しんでもらおうと企画した。

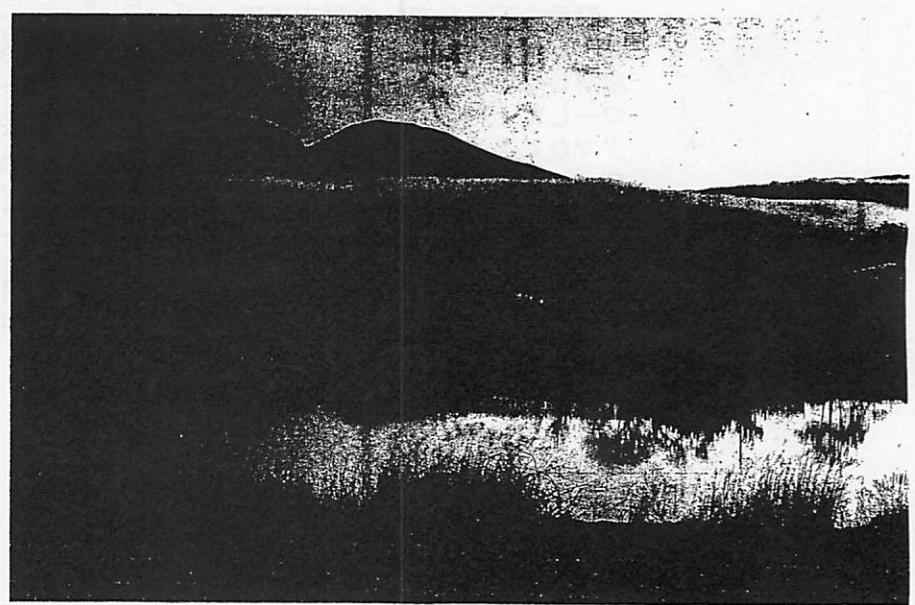
「北部区編」として北部西、やマップに記載されたQRコードをスマートフォンで読み取ると、各コースの紹介や、各コースの消費カロリーも記載した。発着点の御牧原北部区公民館には案内看板を設置。看板

「北部区編」として北部西、やマップに記載されたQRコードをスマートフォンで読み取ると、各コースの紹介や、各コースの消費カロリーも記載した。発着点の御牧原北部区公民館には案内看板を設置。看板

「北部区編」として北部西、やマップに記載されたQRコードをスマートフォンで読み取ると、各コースの紹介や、各コースの消費カロリーも記載した。発着点の御牧原北部区公民館には案内看板を設置。看板



公民館の看板前でマップについて話す小池さん



早朝 巡ってみると

なだらかな御牧原台地。浅間山のシルエットが浮かび上がった

東御市御牧原の絶景を求め、「おいでなんし御牧原の会」のガイドマップを表示させたスマートフォンを片手に1日早朝、北部区を巡ってみた。北部南東のベリーロングコース上にある小高い場所からは北東の方向に浅間山が映え、振り返るとなだらかな起伏の丘が広がっていた。

東御、小諸、佐久の3市にまたがる御牧原(小諸では御牧ヶ原)台地は、八ヶ岳連峰などから噴出した軽石や火山灰が堆積してできた。明治時代以降、開墾で農業用ため池が200以上造られたことも特徴だ。

木々が落葉し、雪の降る前のこの時期は特に見晴らしが利く。田畑やため池を気持ち良く見渡すことができた。

(河西 宏樹)

映える信州 クマなく発信



信州各地で撮影された写真を投稿している「アルクマ」の公式アカウント（インスタグラムから）とQRコード

県民の写真募集

開設を記念して、今月末まで県民らが撮影した信州の写真を募集している。アルクマをフォローした上で、「#アルクマ—クマなくあるく」を付けて投稿をすると、来年1月に予定されているアルクマのオンラインイベントで一部が紹介され、抽選でグッズがもらえる企画もある。

アルクマ公式インスタ



県PRキャラクター「アルクマ」の公式インスタグラム（arukuma_kumanakuaruku）が開設された。信州の「写真映え」スポットなどを紹介しながら、県内外に魅力を発信していく。

アルクマは、信州を「クマなく歩きまくり、魅力を世の中にク

マなく広める」活動をしているキャラ。これまでホームページやフェイスブックで情報発信してきたが、県が今年度を「信州観光復興元年」と位置づけて進めるキャンペーンを盛り上げようと、今月1日にインスタグラムのアカウントを作成。今後、アルクマが県内を旅する様子などを写真で発信するという。

県観光誘客課の若林憲彦課長は「紅葉が終われば、

一面銀世界のシーズンがやってくる。県の魅力を広く知ってもらうため、皆さんが撮った信州の姿を届けてほしい」と話している。